

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富山県市町村会館管理組合		代表者名	藤井 裕久	
担当者部署	事務局		連絡先電話番号	076-441-1511	
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	上山 謙治	連絡先E-mail	csn-kami@micnet.ne.jp
住所	930-8578 富山県富山市下野995番地の3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DXは誰のために、何のために必要か、DXの考え方やデータ活用の重要性の講義や「データを活用した市民参加型まちづくり」の事例を紹介していただくとともに、「地域幸福度（Well-Being）指標」を使い、データから考えるワークショップを行ったことで、市町村がDXを推進しデータ活用することのメリットを具体的にイメージすることができた。 また、「Zoom」や「sli.do」も活用しながら、講師と会場での受講者やオンラインでの受講者がリアルタイムで意見交換しながらの講義、「Googleフォーム」作成演習や「ChatGPT」のデモを行うことで、デジタルツールに慣れ親しめる研修となった。
アドバイザーへの要望事項	市町村がDXを推進し、デジタルツールやデータ活用を政策立案に結び付けられるよう、来年度以降も研修を実施し、アドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月22日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時30分	15時15分	60
			活動時間（分）	285	
3-2. 派遣場所	会場名	富山県市町村会館	最寄駅	富山駅	
	所在地	富山市下野995番地の3	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市町村職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	デジタル社会の実現に向け、市町村においては、様々な分野でデジタル化の施策が求められており、職員が各分野で具体的なDX推進を何から始めるか、組織のDX人材を如何に育成するかなど、DX推進のための組織づくりや人材育成が急務である。 このような中、DXの考え方やデータ活用の重要性を理解し、ワークショップ等を通じデジタルツールの活用について学ぶことで、これからの政策立案に活かせる研修を実施したい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市町村職員がDX推進の重要性について理解し、デジタルツールやデータを活用することにより、地域活性化のための政策立案や課題解決を図るとともに、業務効率や行政サービスの向上に繋げる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	市町村が社会情勢や経済状況の変化に対応し、住民ニーズや地域課題に対応するため、デジタルツールやデータを活用するメリットを具体的な事例や自治体の導入事例を通じて紹介いただくとともに、「地域幸福度（Well-Being）指標」を使用したワークショップを行った。 また、「Zoom」、「sli.do」、「Googleフォーム」、「ChatGPT」など、デジタルツールを活用しながらの講義やワークショップを通じ、これらのツールに親しめるよう支援いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	市町村がDXを推進し、データやデジタルツールを活用することについて、理解を深めるとともに、DX活用のメリットを具体的にイメージすることができた。 また、DXの具体的な活用事例の紹介やデータやデジタルツールを用いたワークショップにより、課題把握から政策立案に活用できることが理解できた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 今回の研修により、受講した市町村職員が、DXを推進し、データやデジタルツールを活用して、住民ニーズや地域課題への対応のための政策立案に活かせるスキルを身に付けることができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ⑤その他	
事業の最終的な目指す姿	市町村がDX活用により、業務効率や住民サービスの向上を図るための政策立案を実施することができる職員を育成する。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

